

中施策評価書

作成日 平成30年 7月 31日

中施策事業名	物品の出納保管事務	部課名	会計管理者・出納室
		作成者	平下 義之

①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う
③中施策	税金を効果的、効率的に使う
④中施策事業の対象	市職員
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	共通消耗品を増やすことで、各課の支払事務が減っている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 共通消耗品の出納及び保管 ・ 現金の出納及び保管 ・ 県証紙、市請求書の販売及び保管

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
払出回数	事業実施年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	目標値	100	105	110	115	120	120
	実績値	116	110				
単位	回						
	事業実施年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				平成28年度	平成29年度	平成30年度
① 総事業費 (a+b)				60千円	59千円	
	a 事業費合計			0千円	0千円	0千円
	人 件 費	正 規 職 員	人 数	0.01 人	0.01 人	
			b 金 額	60千円	59千円	
		非 常 勤 一 般 職 員 等 (事業費に含む)	人 数	0 人	0 人	
			金 額	0千円	0千円	
		人件費合計			60千円	59千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				60千円	59千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				1 円	1 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	目標値は達成しているが、以前より共通消耗品の種類が少ないので共通消耗品にない事務用品については各課で購入している。 単価契約のため価格にバラつきがなく、各課の事務削減にはなるが、総務課予算のため無駄に共通消耗品の払出しをされる。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	今後も継続を予定	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	共通消耗品取扱品を検討	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況	総務課との検討は実施できなかったが昨年度と同様継続した	
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況	共通消耗品の品数及び払出回数について総務課と検討する	